

# 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	122,977	<b>流動負債</b>	<b>2,343,142</b>
現金及び預金	3,932	買掛金	8,643
受取手形	2,803	短期借入金	1,610,741
売掛金	18,668	未払費用	333,779
商品及び製品	30,684	未払金	254,533
仕掛品	—	未払法人税等	10,665
原材料及び貯蔵品	11,588	預り金	12,338
前渡金	1,958	仮受金	12,821
前払費用	7,835	訴訟損失引当金	99,620
仮払金	42,962	<b>負債合計</b>	<b>2,016,370</b>
未収入金	44,374	<b>純資産の部</b>	
その他	87,336	科目	金額
貸倒引当金	△41,831	<b>株主資本</b>	△1,467,335
<b>固定資産</b>	<b>752,829</b>	資本金	1,871,129
<b>有形固定資産</b>	679,540	資本剰余金	1,462,629
建物	8,088	その他利益剰余金	1,462,629
構築物	0	<b>利益剰余金</b>	△4,801,069
機械及び装置	0	その他利益剰余金	△4,801,069
車両運搬具	0	繰越利益剰余金	△4,801,069
工具、器具及び備品	3,565	<b>自己株式</b>	△44
土地	666,589	<b>新株予約権</b>	20
建設仮勘定	0	<b>純資産合計</b>	<b>319,231</b>
<b>無形固定資産</b>	16,865		
ソフトウェア	15,000		
その他	1,865		
<b>投資その他の資産</b>	56,423		
関係会社株式	0		
出資金	5		
関係会社長期貸付金	616,722		
貸倒引当金	△616,722		
その他	56,418		
破産更正債権等	60,327		
貸倒引当金	△60,327		
長期前払費用	1,689		
前払年金費用	32,797		
敷金及び保証金	23,300		
<b>資産合計</b>	<b>875,807</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>875,807</b>

(注) 千円単位未満の端数は切捨てのうえ表示しております。

# 損 益 計 算 書

平成27年4月1日  
から  
( 平成28年3月31日 )  
まで

(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
売 上 高		348,242
売 上 原 価		599,718
売 上 総 損 失		251,475
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		310,438
営 業 損 失		561,914
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	13	
短 期 貸 付 金 利 息	15,602	
為 替 差 益	190	
関 係 会 社 受 取 家 賃	5,410	
雑 収 入 他	9,139	
そ の 他	551	30,639
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	293,242	
為 替 差 損	0	
手 形 売 却 損	156	
支 払 手 数 料	2,698	
雑 損 失	327	296,425
経 常 損 失		827,701
特 別 利 益		
前 期 損 益 修 正 益	10,356	
固 定 資 産 売 却 益	13,500	
新 株 予 約 権 戻 入 益	40,509	
債 務 免 除 益	15,507	79,873
特 別 損 失		
減 損 損 失	413,293	
固 定 資 産 除 売 却 損	6,704	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	14,999	
事 業 撤 退 損	34,270	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	524,050	
訴 訟 損 失 引 当 金 繰 入 額	99,620	
そ の 他	105,484	1,198,424
税 引 前 当 期 純 損 失		1,946,252
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,955	
法 人 税 等 調 整 額	△25,811	△23,855
当 期 純 損 失		1,922,396

(注) 千円単位未満の端数は切捨てのうえ表示しております。

## 株主資本等変動計算書

平成27年4月1日  
から  
( 平成28年3月31日 )  
まで

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当 期 首 残 高	1,863,089	1,462,629	1,462,629	△2,878,672	△2,878,672
事業年度中の変動額					
新株の発行	8,040				
当期純損失				1,922,396	1,922,396
新株予約権の行使					
新株予約権の失効					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
事業年度中の変動額合計	8,040			1,922,396	1,922,396
当 期 末 残 高	1,871,129	1,462,629	1,462,629	△4,801,069	△4,801,069

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当 期 首 残 高	△44	447,001	45,797	492,798
事業年度中の変動額				
新株の発行		8,040		8,040
当期純損失		1,922,396		1,922,396
新株予約権の行使			5,268	5,268
新株予約権の失効			40,509	40,509
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
事業年度中の変動額合計		△1,914,356	45,777	△1,868,579
当 期 末 残 高	△44	△1,467,355	20	△1,467,335

(注) 千円単位未満の端数は切捨てのうえ表示しております。

## 個別注記表

### I. 継続企業の前提に関する注記

当社は、8期連続して経常損失及び当期純損失を計上しており、当事業年度末の当期純損失は1,922,396千円となっております。

事業については、ほぼ全部を停止又は撤退をしております。

当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

以上のことから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、計算書類及びその付属明細表は、継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を計算書類及びその付属明細表に反映しておりません。

当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

### II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産（リース資産を除く）

建物

(a) 平成19年3月31日までに取得したものは、旧定額法によっております。

(b) 平成19年4月1日以降に取得したものは、定額法によっております。

建物以外の有形固定資産

(a) 平成19年3月31日までに取得したものは、旧定率法によっております。

(b) 平成19年4月1日以降に取得したものは、定率法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	15～40年
構築物	10～30年
機械及び装置	3～8年
車両運搬具	4～5年
工具、器具及び備品	4～10年

##### ② 無形固定資産

自社利用目的のソフトウェア 社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法

##### ③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産に基づき、簡便法により計上しております。なお、当事業年度末においては、年金資産が退職給付債務を上回っているため、退職給付引当金残高はありません。

(4) その他計算書類作成のための基本となる事項  
消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

### Ⅲ. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	4,748,109千円
(2) 担保に供している資産	
① 建物	8,088千円
② 機械及び装置	0千円
③ 土地	666,589千円
④ 器具及び備品	3,565千円
計	678,244千円
(上記に対応する債務の金額)	
短期借入金	1,413,069千円
計	1,413,069千円
(3) 受取手形割引高	2,803千円
(4) 関係会社に対する長期金銭債権	616,722千円

### Ⅳ. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高	
売上高	一千円
営業取引以外の取引高	20,743千円

## V. 株主資本等変動計算書に関する注記

自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当期首残高 (千株)	増 加 (千株)	減 少 (千株)	当期末残高 (千株)
普通株式	1	—	—	1

(注) 普通株式の自己株式の株式数は、単元未満株式の買取りによるものです。

## VI. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位: 千円)

(繰延税金資産)

繰越欠損金	4,801,069
固定資産減損損失 (土地)	243,036
固定資産減損損失 (土地以外)	525,268
貸倒引当金	720,249
訴訟損失引当金	99,620
会員権評価損	17,478
その他	54,668
繰延税金資産 小計	6,461,388
評価性引当額	△6,461,388
繰延税金資産合計	—

(繰延税金負債)

繰延税金負債合計	—
繰延税金負債の純額	—

(2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳

税引前当期純損失を計上しているため記載を省略しております。

## VII 関連当事者との取引に関する注記

役員及び個人主要株主等

属性	会社名 又は氏名	関連当事者 との関係	議決権等の (被所有) 所有割合 (%)	取引の 内 容	取引金額 (千円) (注2)	科目	期末残高 (千円) (注2)
役員及び その近親者	三浦一博	当社取締役	(被所有) 直接0.05	当社借入金に 対する債務保 証 (注)1	679,978	—	—

- (注) 1. 銀行からの借入金の一部に対して債務保証を受けております。  
 なお、当社は当該被債務保証について保証料の支払及び担保の提供は行っておりません。
2. 上記取引金額には、消費税等は含まれておりません。

## VIII. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額  $\Delta 6$ 円93銭

1株当たり当期純損失  $\Delta 9$ 円08銭

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

## IX. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

## X. 退職給付会計に関する注記

該当事項はありません。

## XI. 減損損失の注記

当事業年度においてデジタルコンテンツ事業にて減損損失を計上しております。

### (1) 減損損失を認識した資産グループの概要

用 途	種 類	場 所	減損損失
事業用資産	機械装置	宮城県仙台市	413,293千円

### (2) 減損損失の認識に至った経緯

デジタルコンテンツ事業を中止したため、投資額の回収が見込めなくなったため、当該投資額を減損損失として特別損失に計上しております。

### (3) 減損損失の金額

種 類	金 額
建 物	252,806千円
構 築 物	7,063千円
機 械 装 置	105,441千円
車 両 運 搬 具	287千円
器 具 及 び 備 品	3,905千円
そ の 他	16,904千円
合 計	386,409千円

(4) グルーピングの方法

事業の種類別にグルーピングしております。

(5) 回収可能価額の算定方法

デジタルコンテンツ事業に係る固定資産の回収可能価額は、使用価値がマイナスとなったため正味売却価額によっております。